

# 平成 30 年度 児童発達支援 自己評価

ChildDevelopmentCare Ceresyuru

## ■環境・体制整備

〈工夫している点〉

- ・定員を越さないよう、時間割を組んでいる。人員配置基準を満たすように職員配置を行っている。
- ・安全に過ごすことができるスペースを確保している。
- ・お子さまひとりひとりに合わせて、支援内容や環境調整等を整えている

〈今後の課題・改善すべき点〉

- ・バリアフリー化がされていない。

## ■業務改善

〈工夫している点〉

- ・職員間で時間を設けて話し合いをしている。

〈今後の課題・改善すべき点〉

- ・支援の目標設定が適切になされていないことがあるため、適切な目標設定に向けて実態の把握が必要
- ・保護者等に対して事業所評価を実施したが、頂いた意見の全てを改善することはできていない
- ・外部研修を受講している職員と、受講していない職員がいる

## ■適切な支援の提供

〈工夫している点〉

- ・児童発達支援計画に沿った支援を行なうため、支援の打ち合わせや振り返りを行っている。
- ・お子さまひとりひとりに合わせた活動設定をしている。

〈今後の課題・改善すべき点〉

- ・職員間でアセスメントのスキルに差がある。
- ・支援内容が、児童発達支援計画から外れてしまうことがある。
- ・活動プログラムの立案を、チームで行っている部分もあれば行っていない部分もある。
- ・支援終了後の反省会をできる時とできない時がある
- ・記録が滞ることがある

## ■関係機関や保護者との連携

〈工夫している点〉

- ・関係機関との連携を必要に応じて行っている。
- ・担当者会議への参加、保護者懇談等を行い、顔の見える関係を作り、コミュニケーションの機会を増やしている。
- ・家族支援を行なえるよう、ペアレントプログラム等の研修を受けている。

〈今後の課題・改善すべき点〉

- ・医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害児を受け入れる場合、配慮事項等、保護者からの聞き取りのみ行っている。
- ・他機関との連携や助言や研修を受ける機会は、職員により差がある。

## ■保護者への説明責任等

〈工夫している点〉

- ・保護者からの相談に応じ、助言と支援を行なっている。
- ・保護者の為の会を定期的で開催している。
- ・保護者の方に送迎してもらっている為、その都度話をしている。

〈今後の課題・改善すべき点〉

- ・職員間で情報を共有していけるようにする。

## ■非常時等の対応

〈工夫している点〉

- ・食物アレルギーの子どもについて、保護者からの聞き取りに基づき対応している。
- ・契約書に拘束についての内容を記載し、契約時に読み合わせを行った上で、具体的な内容を説明し、承諾を得ている

〈今後の課題・改善すべき点〉

- ・避難、救出訓練は、他の業務に比べて後回しになりやすい。早めに計画を立てて実行する